

結核って感染するの？ ～あなたと大切な人を守るために～

結核は、以前の「国民病」から「薬を飲めば治る病気」になりました。1年間の新規登録患者数は減り、日本は「低蔓延化」を達成しましたが、今でも1日約30人の新しい患者が発生し、5人が命を落とす日本の重大な感染症です。早期発見と確実な治療により、家族や周囲の人たちの健康を守るため、結核を知って、予防と対策をしていきましょう。

1 たちの悪い風邪？ もしかしたら結核かも。

痰や咳、微熱、身体のだるさが**2週間以上続く**のは、結核かもしれません。
早めに受診しましょう。



Check① 咳、微熱、身体のだるさは _____ 頃から続いている。

○高年齢者ほど咳や痰の症状がでにくく、受診・診断の遅れによる集団感染が問題です。

➔こんな症状にも注意！ ■ 体重減少 ■ 食欲不振 ■ 元気がない、寝汗 など

<結核を発病しやすい人は？>

- 喫煙習慣がある人
- 人工透析を受けている人
- 結核高蔓延国※から来た外国出生者
- ステロイドホルモンを使用している人
- 糖尿病の人
- 胃潰瘍、胃の手術をした

※ インド、インドネシア、中国、フィリピン、パキスタン、ナイジェリア、南アフリカなど。
これらの国が世界の結核患者発生数の6割以上を占めています。

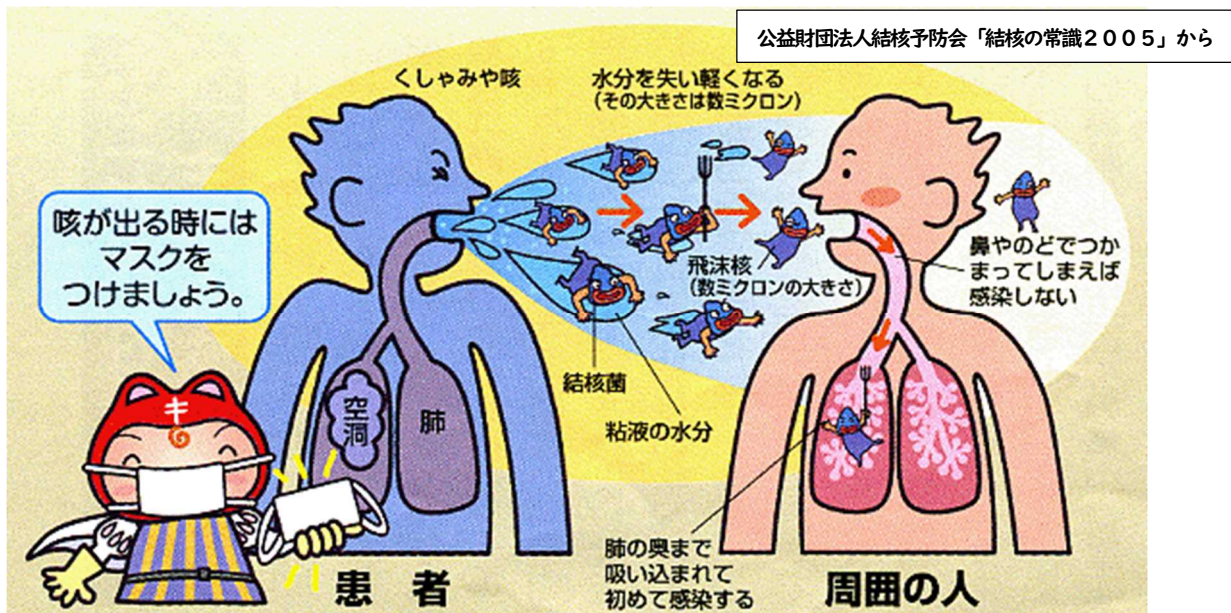
2 結核ってどんな病気？

結核菌によって、主に肺に炎症が起きる病気です。**今は、確実に薬を飲めば治る病気**です。進行すると咳やくしゃみなどの空気感染により周囲の人に感染させてしまうので、結核菌が出ている間は入院治療を行います。

Point 「感染」と「発病」

結核は、「感染」しても必ず症状が出るとは限りません。感染を受けても発病するのは1～2割です。ただし、若い頃に感染を受け、高齢になり免疫が落ちて「発病」するということもあります。

「発病」して結核が進行すると、身近な人に「感染」させる可能性が高まるのです。



3 健康診断が早期発見につながる。

住民健診や職場の健康診断などの**胸部レントゲン撮影**が早期発見につながります。
自身の重症化予防とともに、身近な人への感染を防ぐことにもつながります。

Check②

○直近の定期健康診断で胸部レントゲンは _____ 年 月 頃、

職場健診・住民健診・医療機関（ _____ ）で撮影。



4 結核ってどんな治療をするの？

保健所は、結核治療が確実におこなわれるよう医療機関と連携して対応しています。
生活を整え、バランスの良い食事、十分な睡眠・適度な運動で回復を目指しましょう。
薬の副作用を防ぐために飲酒を控えること、禁煙への取組みも重要です。

(1) 発病した方：すべての患者さんが、周囲に感染させるわけではありません。

- ・「感染性なし」と判断された場合は、外来治療（抗結核薬の内服治療）が可能です。
- ・喀痰検査で結核菌が認められる場合は、結核菌が体の外に出ていないことが確認できるまで入院治療となります。
- ・退院後は、通院により毎日の服薬を継続し、治療成功を目指していきます。
- ※ 結核治療は複数の効果のある薬を6か月以上服用します。合併症や副作用などにより、薬や治療期間が延長されることがあります。
- ※ 薬の自己中断や不規則な服用により薬が効かなくなり、治療が難しく長期間になることがあります。
副作用がでたら、早めに主治医に相談しましょう。



(2) 発病していない方（潜在性結核）

- ・定期的通院で、発病予防のための薬を毎日飲み続けます。（概ね6ヶ月）



☆ 結核治療には公費負担制度があります（健康保険や所得状況により自己負担が生じる場合があります）。

☆ 保健所は、結核治療は完了まで医療機関とともにサポートします。

Check③

○保健所担当 _____ 電話番号 0296-24-3965

茨城県筑西保健所（保健指導課） 住所：筑西市二木成615（筑西合同庁舎1階）

5 治療終了後はどうするの？

服薬が終了しても2年間は再発しやすい傾向があります。主治医に経過観察の方針（今後の通院など）を確認しましょう。

保健所では管理検診により、半年毎に2年間（計4回）の無料検診（胸部レントゲン検査）により、経過観察を行っていきます。検診案内が届いたら、受診していきましょう。

* 転居や入所など居住地の変更は、保健所にご連絡ください。



←結核の情報は、筑西保健所のホームページに掲載しています。

